

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-7_地域コミュニティの充実

基本計画		事業番号	細事業名称
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02123_01	自治会館及び施設建設補助金
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02486_01	防犯灯LED化整備事業
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	02486_02	防犯灯設備整備事業補助金
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	03519_01	敬老地域ふれあい事業
5-07-01	地域コミュニティ活動への支援	07028_18	大島秋祭り活性化支援補助金
5-07-02	地域再生への体制づくり	02371_03	地域コミュニティ再生事業
5-07-02	地域再生への体制づくり	02474_01	地域おこし協力隊推進事業
5-07-02	地域再生への体制づくり	02474_02	地域おこし協力隊推進事業補助金
5-07-02	地域再生への体制づくり	02510_04	協議会型地域運営組織モデル事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	02123_01		
事業名(行目名称)		コミュニティ施設整備事業	細事業名	自治会館及び施設建設補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内自治会数	数値	300			
	手段(どうやって)	集会所施設整備(集会所施設の増築及び倉庫等附帯施設の整備、集会所施設の改修及び修繕、集会所施設の倉庫等附帯施設の改修及び修繕)、放送施設整備(電柱及び放送小屋の新設、増設及び修繕、放送設備の新設、増設及び修繕並びに配線改良)、掲示板整備(掲示板の新設、増設及び修繕)の事業を対象として、補助金を交付する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域住民の自治組織が行う集会所施設等の整備に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、コミュニティ活動の推進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 8,400千円	
経費		7,170	8,400	8,400			
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	7,170	8,400	8,400			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
対応度(補助件数/要望件数)		目標値	70	65	50	65	70
		実績	48	43	32	52	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
昨年の予算要望時に自治会から工事予定を提出してもらい、緊急対応分を加味して予算化している。自治会からの申請状況を確認しながら、適正な予算執行に努めている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
自治会要望数の増加にともなう、要望額の増加を見込んでいる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	B:事業の進め方の改善検討				
前年度に要望があった自治会の修繕等の対応は全て行うことができた。しかし今後の自治会の要望数が増加する見込みであり、予算内に収めるためにも、事業の進め方に検討が必要である。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02486_01		
事業名(行目名称)		防犯灯LED化整備事業費		細事業名 防犯灯LED化整備事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 地域コミュニティの充実				
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援		担当課 地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	リース契約灯数			数値	9200		
	手段(どうやって)	平成26年12月から10年間、リース契約している9,200灯分の防犯灯の維持管理費を全額市の負担で業者に支払う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民の安全性を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○使用料及び賃借料 19,250千円		
経費		19,249	19,250	19,250				
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	19,249	19,250	19,250				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
リース契約灯数			目標値	9200	9200	9200	9200	9200
			実績	9200	9200	9200	9200	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>10年間(H26.12.1～R6.11.30)のリース契約の9年目となる。契約期間満了後は、所有権が市に移行するが、自動点滅器を含めて故障が多くなってきていることから、令和5年度中にはリース終了後の管理体制を決定する必要があり、現在その手段を模索している。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小					
<p>リース契約に基づいた年割額を計上し、R6.11.30でリース契約が終了するのでその費用については減額となる。ただし、維持管理費について手数料として計上する。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>防犯灯の設置により、市民への安心安全の生活を提供することができた。令和6年11月にはリース契約が終了するため、今後の防犯灯の維持管理について方針決定をする必要がある。</p>								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02486_02		
事業名(行目名称)		防犯灯LED化整備事業費		細事業名 防犯灯設備整備事業補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 地域コミュニティの充実				
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援		担当課 地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内自治会数			数値	300		
	手段(どうやって)	防犯灯整備(LED照明器具の新設及び支柱の更新、修繕等)の事業を対象として、補助金を交付する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域住民の自治組織が行う防犯灯の整備に対して、予算の範囲内において補助金を交付することにより、地域安全の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 802千円		
経費		784	802	802				
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	784	802	802				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
対応度(補助件数/要望件数)			目標値	53	60	45	60	50
			実績	46	49	10	25	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
昨年度、自治会に対して新設予定を調査して必要数を算出し、災害等にも対応できるよう調査数+αで予算を計上しているが、想定していなかったNTT柱の移設に係る防犯灯の移設が増加している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
防犯灯設置の要望は多く寄せられているため、今年度は拡大となる。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		B:事業の進め方の改善検討				
昨年度に要望のあった防犯灯については、全て対応できた。しかし、今後防犯灯の設置要望数が増えた場合も考慮して事業の進め方について検討していく必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	03519_01		
事業名(行目名称)		敬老地域ふれあい事業費	細事業名	敬老地域ふれあい事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	介護福祉課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	70歳以上の高齢者		数値	29,741人		
	手段(どうやって)	自治会等が主催する敬老会に出席した70歳以上の人数により交付金を交付する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	高齢者が地域で集える場づくりを支援するとともに、地域住民との交流を活性化させ、高齢者の社会参加促進を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,541	9,764	9,764	6,503	○役務費 14千円 ○負担金補助及び交付金 9,750千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	4,541	9,764	9,764	6,503		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
敬老事業開催数		目標値	160	160	160	160	160
		実績	66	71	95	120	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
敬老事業について、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、開催数が増加している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
高齢者が地域で集える場づくりを支援するとともに、地域住民との交流を活性化させ、高齢者の社会参加促進を推進するために、今後も敬老事業が開催される場合には、事業を継続する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
限られた財源であり、事業全体の大幅な見直しが必要である。施設では、基本敬老会を開催しており、特別養護老人ホーム及び地域密着型介護老人福祉施設のみを交付金の対象施設としていたが、今後は施設については、全て交付金の対象外とする。自治会主催の敬老会開催に対する交付金についても、均等割を廃止する等の見直しを行う。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	07028_18		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	大島秋祭り活性化支援補助金				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実				
	基本計画	地域コミュニティ活動への支援	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、主として大島に縁がある市民及び市外からの観光客		数値	500			
	手段(どうやって)	大島秋祭りの活性化に向けた支援						
	目的(どんな状態にしたいのか)	大島秋祭りを活用した大島地区の地域活性化及び観光振興の推進						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費			200	200	○負担金補助及び交付金 200千円			
財源	県・国支出金	0	100	100			0	
	地方債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源		100	100				
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
祭り期間の来島者数			目標値	500	500	500	500	500
			実績	0	0	170	170	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止となっていた大島秋祭りが4年ぶりの開催となった。観光客の増加による大島地区の活性化及び観光振興を図るためには、より一層の広報が必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
令和6年度は、大島秋祭りへの観光客を呼び込み、大島地区の地域活性化及び観光振興につなげていくため現状維持とする。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
成果指標とはかなりの開きがある結果となった。人口減少や祭りの担い手不足が著しく生じており、課題は多いが、まずは大島秋祭りについて、広く周知することによる見物客の増加に取り組み、引き続き、様々な課題解決に向けた事業に取り組むものとする。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	02371_03		
事業名(行目名称)		地域コミュニティ再生事業費	細事業名	地域コミュニティ再生事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内の自治会数		数値	300		
	手段(どうやって)	新居浜市連合自治会が実施する防犯灯維持管理事業、新居浜市連合自治会活動事業(総会、研修事業、金婚式及び自治会役員表彰事業、自治会加入促進事業、女性部活動事業、愛媛県自治連合会に関する事業等)、新居浜市広報活動事業(市政だよりの配布、その他の広報活動及び自治会事務支援)、ごみ減量化等啓発事業(ごみ収集カレンダーの配布、ごみ分別辞典の配布)、コミュニティ活性化事業(花いっぱい運動、意欲のある地域で取り組むソフト事業)に対し、交付金を交付する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市連合自治会が、地域コミュニティ再生のため主体的に地域の活性化を図るとともに、市民の福祉の向上と市政の発展に資するために実施する事業に対する報償として、予算の範囲内で交付金を交付することにより、市民と行政の協働によるまちづくりを推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		56,102	54,462	54,462		○負担金補助及び交付金 54,462千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	56,102	54,462	54,462			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
自治会加入率			目標値	70	65	65	56
			実績	57.9	56	54.5	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>自治会加入率の調査については、年間を通しての加入率調査となるため中間値を算出することができない。人々の価値観の多様化やライフスタイルの変化により、特に中堅世代の自治会離れが進んでいる。新たな試みとして各校区ごとに地域運営組織の設立を進めているところであるが、その中核をなす自治会に対しどのようなアプローチが必要かを連合自治会とともに考えて行く必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>自治会離れが全国的に進んでいるが、依然として自治会の重要性は高い。加入率を上げるというよりは加入率の減少に歯止めをかけるためにも、自治会に対して継続した支援が必要であると考えます。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>コミュニティ活性化事業を活用して、防災対策や地域課題の解決に向けて、各校区がさまざまな団体と協力して地域の実情に応じた事業が展開され、地域コミュニティの活性化につながっていることから、今後も引き続き事業を実施し、地域主体のまちづくりを目指す。</p>							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02474_01
事業名(行目名称)		地域おこし協力隊推進費		細事業名	地域おこし協力隊推進事業	
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	地域コミュニティの充実	
	基本計画	地域再生への体制づくり		担当課	別子山支所	
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地域住民			数値	130
	手段(どうやって)	地域おこし協力隊員を3名採用し、別子山地域の自然を利用した魅力ある特産品からなる「別子山ブランド」を創出し、新たな移住者にも対応できる地域内の雇用先及び収入確保ができる事業の創出を通じて定住人口や交流人口の増加を図るため、地域おこし協力隊の活動費を行政が予算措置する。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	人口減少及び少子高齢化の進行が著しい本市の別子山地域において、地域外の人材を積極的に誘致し、地域おこし協力隊を設置し、地域力の維持及び強化並びに地域の活性化を図るとともに、その人材の定住及び定着を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		11,275	14,829	14,829	0	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 7,135千円 ○職員手当等 1,190千円 ○共済費 1,461千円 ○旅費 740千円 ○需用費 1,815千円 ○役務費 66千円 ○使用料及び賃借料 1,936千円 ○備品購入費 321千円 ○負担金補助及び交付金 165千円
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	11,275	14,829	14,829		
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度
任期終了後の定住者数(累計)			目標値	5	5	3
			実績	4	5	3
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
<p>高齢化と過疎化が進む別子山地区において、行政と地域の橋渡し役的な存在の地域おこし協力隊の存在は小さいものではない。だが、元地域おこし協力隊の言動、行動は、別子山地区のイメージを悪くしている。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小			
<p>隊員減により縮小の予定。</p>						
VI 事後評価						
成果		総合評価(令和5年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討		
<p>任用中の隊員1名が年度途中で退職した。これまでの経緯を踏まえ、別子山地域で地域おこし協力隊のニーズがあるのか、また採用条件についても検討しなければいけない。</p>						

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	02474_02		
事業名(行目名称)		地域おこし協力隊推進費	細事業名	地域おこし協力隊推進事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	地域おこし協力隊	数値	3			
	手段(どうやって)	平成26年度から別子山地域において導入された地域おこし協力隊の市営住宅家賃を補助する。また、起業(開業、就農など)に際し要する経費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域おこし協力隊の市営住宅家賃、起業に要する経費の一部を補助することにより、日常経費の負担を軽減する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,508	648	648	○負担金補助及び交付金 648千円		
財源	県・国支出金	500	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,008	648	648			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
任期終了後の定住者数(累計)		目標値	5	5	3	5	2
		実績	4	5	3	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度は、地域おこし協力隊の家賃補助のみだが、家賃補助をすることにより、日常経費の負担を軽減しているため、継続したい。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
隊員数減により縮小							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
地域おこし協力隊の市営住宅家賃、起業に要する経費の一部を補助することにより、日常経費の負担を軽減する事により、地域おこし協力隊の活動及び生活に必要な支払いを滞りなく行うことができた。地域おこし協力隊が在籍、また任期満了後の起業をする場合には必要であると思われる。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	02510_04	
事業名(行目名称)		地域づくり促進事業費	細事業名	協議会型地域運営組織モデル事業			
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	モデル校区(地域)		数値	2		
	手 段 (どうやって)	住民が主体となったまちづくりの推進のため、概ね旧小学校区を単位とした自治会、地域で活動する各種団体、学校、企業などが連携して、地域課題の解決に向けて取り組むしくみを作り、住民自治組織の円滑な運営と地域の特性を活かした地域づくりを支援する。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	支え合い助け合う地域づくりと地域住民による自治の実現を目指し、地域内の様々な分野の団体等が連携・協力し合える仕組みづくりをする。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,457	7,686	7,686	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 864千円 ○職員手当等 435千円 ○報償費 207千円 ○旅費 29千円 ○需用費 68千円 ○負担金補助及び交付金 6,083千円 		
財 源	県・国支出金	0	0	0			
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	1,457	7,686	7,686			
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
地域づくりモデル事業実施数 (準備会等開催回数、専門部会開催回数)		目標値	24	24	24	96	48
		実績	19	27	32	68	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和5年4月からモデル校区におけるまちづくり活動が始動している。地域運営組織における活動成果については長期的な視点で評価していくべき事項が多く、また各地域運営組織内で、毎年度、単年度事業実施後の反省点を次年度において改善、事業修正していくことで、持続可能な地域コミュニティづくりを実施していくこととしている。現時点では、役員会や専門部会での組織体制、地域住民等への情報発信、各種団体との協力連携、地域住民等の交流、地域課題の解決など、それぞれの実施項目において概ね良好である。今後の課題としては、組織事務局を担う事務局体制の見直し、自己財源のさらなる確保、まちづくりへの新たな参画者確保などが挙げられる。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>モデル校区での地域運営組織の活動については引き続き継続的な財政支援及び人的支援が必要である。他校区への組織拡大については、引き続き2校区の取組状況等について情報発信を行うとともに、2校区での活動状況を検証しながら全市拡大方針について決定していく。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>モデル校区である宮西校区及び中萩校区の地域運営組織の活動については継続的な財政支援及び人的支援を行っており、中萩校区については、次期役員人事等との課題から令和5年度末で地域運営組織が解散となった。今後については、引き続き地域運営組織の取組状況等について情報発信を行うとともに、令和5年度活動状況、課題、成果等を検証しながら全市拡大方針について決定していく。</p>							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者			最終評価責任者			
事後評価	作成担当者			最終評価責任者			